

R5-12

小・中学校合同 1 日防災学校の実施

- 管内 留萌管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 小・中学校間で連携し、発達の段階に応じた系統的な防災安全教育
- 2 関係機関と連携した体験的な活動

取組の実際

ねらい

- 地域の未来を担う子どもたちが、自然災害に関する正しい知識をもち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動をとることができる力を身に付ける。

内容

1 小・中学校間で連携し、発達の段階に応じた系統的な防災安全教室

- ・両校が連携して系統性のある学習内容を整理し、小学校の複式学級（2 学年合同学習）の学習形態を踏まえ、2 年周期で同内容を計画（1 年目：大地震を想定、2 年目：大雨を想定）し、実施している。

	A 年度	担当	B 年度	担当
想定	大地震	＼	大雨	＼
避難場所	小・中学校グラウンド	＼	小学校体育館	＼
共通	シェイクアウト 避難訓練	＼	避難訓練	＼
小・低学年	防災ビデオ 防災カルタ	学校 学校	防災ビデオ 新聞紙スリッパ作り	学校 学校
小・中学年	防災マップ確認 バケツリレー	役場 消防	災害対応車見学体験	消防
小・高学年	段ボールベッド作り 人命救助体験	学校 消防	災害非常食作り・試食	役場
中学校	D○はぐ	役場	リアルD○はぐ (避難所設営体験)	役場



【避難訓練の様子】

2 関係機関と連携した体験的な活動

- ・小学校第 1、2 学年では、振興局や村役場と連携して、防災ビデオの鑑賞と防災カルタを実施し、防災の大切さについて学んだ。
- ・小学校第 3、4 学年では、村役場と消防と連携して、防災マップを用いて危険箇所や避難場所を確認したり、地震後の火事に備えたバケツリレーを体験したりした。
- ・小学校第 5、6 学年では、村役場や消防と連携して、避難所の段ボールベッドづくりや、簡易担架等を使って人命救助体験学習を行った。
- ・中学校では、村役場と連携して、「地震が発生し、電気等が使えない」という想定に沿った様々な条件の中、グループで話し合い、解決していく D○はぐを行った。



【小1・2年 防災カルタ】 【小3・4年バケツリレー】 【小5・6年人命救助体験学習】 【中学校D○はぐ】

成果と課題

- 関係機関と連携して、発達の段階に応じた体験活動をとおして、児童生徒は災害時の行動等について理解を深めることができた。
- 学校全体の防災意識を高めることのみならず、地域の一員としての自覚をもち、助け合う力を高めるため、地域と連携した取組方について工夫が必要である。